

「令和5年度いわて新農業人チャレンジファーム第19回研修を開催しました！」

第19回の研修は、令和5年10月27日(金)、28日(土)に雫石町南畑のコテージむらで行いました。

今回の研修では、次期作付計画、肥料と栽植本数の計算、前半の研修の振り返りについての講義と、実習では、トマトの片付け、ねぎとはくさいの収穫を行いました。

次年度作付計画の作成にあたっては、ほ場の規模や畑の条件、野菜の特性、労力や採算性を考慮して、栽培野菜を選択すること、また、自身の栽培意欲を継続させるためにも、作りたい野菜を選択することが重要と研修指導員からのアドバイスがありました。

次に、肥料計算と栽植本数計算については、指定した条件下での10aあたりの元肥施用量と、栽植本数の算出方法及び計算練習を行いました。慣れない計算に苦戦していた受講生も見受けられましたが、野菜栽培における重要な計算のため、繰り返し練習して活用できるようにして

いただきたいと思います。

休憩後、実習ほ場において、前回に引き続きトマトの片付けを行いました。次年度の栽培でも同じ培土を使用する予定のため、培土に張ったトマトの根をほぐしたあと、再び隔離床に培土を戻す作業と、隔離床下の樋の清掃を行いました。

次に、ねぎとはくさいの収穫を行いました。どちらも猛暑が続いた影響からか生育にばらつきが出てしまいましたが、受講生の人数を超えるほどの収量を得ることができました。

今回をもって南畑での研修は終了となります。受講生の皆様、約半年間大変お疲れ様でした。次回からは座学が中心となります。引き続き『農力』向上に励んでいきましょう。

次回の研修は、11月11日(土)に、現地研修として、盛岡市の株式会社いわて若江農園様へ伺う予定です。



肥料計算の問題を解く受講生



トマトの根をほぐす受講生



ねぎを収穫する受講生



はくさいを収穫する受講生